

なかがわ探検バスツアー（第2回）を開催

令和5年10月29日（日）に、「ゆきかう那賀川推進会議」主催による今年度2回目の『なかがわ探検バスツアー』（以下、バスツアー）を開催しました。

今回のバスツアーは、阿南市の小学生の子供11名、その保護者等大人8名の計19名の方々にご参加いただきました。

バスツアーの見学コースについては、「森のずばらしさを感じてみよう」ということで、那賀町臼ヶ谷の整備された美しい森の中を歩き、その後、那賀町山のおもちゃ美術館で木を使ったおもちゃでいろいろな遊び体験をしました。



ゆきかう那賀川推進会議の委員で「那賀川こまち」の会長の橋本さん、連記さんの案内で那賀町臼ヶ谷の間伐がなされ、いろいろな樹種がある森の中を歩き、その途中で参加者の皆さんと森の中にあるものを使っていろいろな体験をしました。シダの葉飛ばし、“ひゅうじ”の葉により音ならし、伐採された木の直径をあてるクイズにより木の年齢による大きさを体感し、最後は木漏れ日の中でシャボン玉をして、森のすばらしいところを感じてもらいました。

橋本会長から、今回歩いている森は人工林だけでなく、広葉樹や下部植生をあえて残すことによってできた混交林であり、多様な植生が見られる自然豊かな森林であることや、その森林において降った雨が葉や幹を伝わって、緩やかに地中に入ることで、洪水の勢いを低減することがあるなどの説明がありました。



【森の中を歩く参加者】



【橋本会長から森や木の説明】



【シダの葉を飛ばす体験】



【“ひゅうじ”の葉で音鳴らし体験】



【直径を当てるクイズで木の大きさを体感】



【シャボン玉を飛ばして楽しむ】

歩いてきた森を背景に那賀川のキャラクターの「りゅうな」と記念撮影も行いました。



【那賀川キャラクター「りゅうな」と記念写真】

その後、昼食をとり、那賀町山のおもちゃ美術館に行きました。

那賀町山のおもちゃ美術館では、木材の端材を使って各自好きなものを作ったり、おもちゃの木を切る林業体験をしました。また、館内のいろいろな木で作っているおもちゃで木に親しんでもらうことが出来ました。



【木材の端材を使って自分独自のものを製作】



【おもちゃののぎり等で木を切る
林業体験】

【那賀町山のおもちゃ美術館前で
集合写真】

参加者は、このバスツアーで森の中を歩きながらいろいろな体験をし、森のすばらしさを感じていただけたようでした。さらに那賀町山のおもちゃ美術館でも木を使ったいろいろな遊び体験を行い、木を通じて森への関心が高まったと思います。

ゆきかう那賀川推進会議事務局では、今後もバスツアーをはじめとするいろいろな取組により、那賀川流域の上下流交流を深めていき、那賀川への関心を高めてもらうようにしていきたいと思っています。